

## 1・財務の概要 平成29年度の主な財務指標の推移

財務諸表について制度の改正があったため、「資金収支計算書」及び「事業活動収支計算書」は平成28年度からのものを表示しています。

## ①資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学生生徒納付金収入	53,602	50,120	
手数料収入	114	114	
寄付金収入	315	724	
補助金収入	104,007	102,980	
付随事業・収益事業収入	6,659	6,433	
受取利息・配当金収入	71	23	
雑収入	2,119	6,092	
その他の収入	90,259	103,172	
資金収入調整勘定	-806	-4,478	
前年度繰越支払資金	65,670	65,122	
収入の部合計	322,010	330,304	

支出の部	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人件費支出	95,027	100,459	
経費支出	40,350	53,492	
施設関係支出	1,026		
設備関係支出	10,961	6,032	
資産運用支出	20,011	20,005	
その他の支出	91,052	102,393	
資金支出調整勘定	-1,539	-8,083	
翌年度繰越支払資金	65,122	56,004	
支出の部合計	322,010	330,304	

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

## ②事業活動支出計算書

(単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
教育活動収支			
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	53,602	50,120	
手数料	114	114	
寄付金	315	724	
経常費等補助金	104,007	102,980	
付随事業収入	6,659	6,433	
雑収入	2,119	6,092	
教育活動収入計	166,818	166,464	
事業活動支出の部			
人件費	95,027	100,459	
経費	55,318	52,577	
徴収不能額等	0	0	
教育活動支出計	150,345	153,036	
教育活動収支差額	16,472	13,427	
教育活動外収支			
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	71	23	
その他の教育活動外収入	0	0	
教育活動外収入計	71	23	
事業活動支出の部			
借入金等利息	0	0	
その他の教育活動外支出	0	0	
教育活動外支出計	0	0	
教育活動外収支差額	71	23	
経常収支差額	16,544	13,451	
特別収支			
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	650	
その他の特別収入	0	0	
特別収入計	0	650	
事業活動支出の部			
資金処分差額	0	0	
その他の特別支出	0	14,670	
特別支出計	0	17,670	
特別収支差額	0	-14,020	
基本金組入前当年度収支差額	16,544	-568	
基本金組入額合計	-10,689	-1,630	
当年度収支差額	5,854	-2,199	
前年度繰越収支差額	6,652	25,388	
基本金取崩額	12,880	0	
翌年度繰越収支差額	25,388	23,189	

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

③貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	平成29年度末	平成28年度末	増減
固定資産	648,996	636,713	12,283
有形固定資産	(344,833)	(352,556)	(-7,723)
特定資産	(242,883)	(222,877)	(20,006)
その他の固定資産	(61,280)	(61,280)	(0)
流動資産	61,376	67,233	-5,857
資産の部合計	710,373	703,947	6,426

負債の部	平成29年度末	平成28年度末	増減
流動負債	8,143	1,149	6,994
負債の部合計	8,143	1,149	6,994
純資産の部	平成29年度末	平成28年度末	増減
基本金	679,040	677,410	1,630
繰越収支差額	23,189	25,388	-2,199
純資産の部合計	702,229	702,798	-569
負債及び純資産の部合計	710,373	703,947	6,426

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

# 平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

## 1.法人の概要

名称 学校法人 松江幼稚園 (昭和56年4月1日法人設立)

理事長 額田 光昌

住所 和歌山市松江中3丁目1番35号

電話 073-453-0050

FAX 073-453-0099

設置する学校 まつえ幼稚園 (創立昭和24年10月1日)

役員 理事 12名、監事 2名、評議員25名

理事会 3回開催、評議員会 3回開催

職員数 園長 1名

教頭 1名

教務主任 1名

教諭 16名

パート教諭 13名

添乗員 4名

事務長 1名

事務職員 2名

運転手 4名 (委託)

## 2.事業の概要

### <教育方針>

本園は、子ども一人ひとりを見つめ、発達段階に応じて、子どもの主体的な活動を促し、自発的な遊び活動を通して、知・徳・体の調和の取れた保育により、生きる力を身に付けた子どもの育成をめざします。

### <事業内容>

①幼児教育事業 (年長・年中・年少・満三歳児)

②早朝預かり (7:30~)、延長預かり (~17:30)

長期休暇中預かり (春休み・夏休み・冬休み) 事業

③満2歳児預かり (まつっこキッズ) 事業

10:00~13:00 (月・木) (火・金)

### <事業報告>

幼稚園は園の運営・教育の両面において適切に点検・評価を実施し、改善点があれば教職員全体

で共有していく。

平成29年度も教諭一人ひとりが一生懸命に保育や研修に取り組み、事業も順調だった。

公認会計士による監査と監事による監査の結果、財務は適正に行われている報告を受けている。

未入園児の遊ぼう会 年4回延べ321名参加

ホームページの定期的更新

定員 320名

・クラス (H29.5/1現在)

年長 109 4クラス、 年中 108 4クラス

年少 94 4クラス、 満三歳児 0 1クラス(6月から) 計311名

### 3.当該年度の主な事業の目的、計画及び進捗状況

#### <保育の計画性・保育のあり方>

しつけの3大原則「挨拶をする」「履物を揃える」「ハイとはっきり返事」が大切と考えている。

幼児がいろいろな行事・遊び・生活体験を積み重ね生涯にわたる人間形成の基礎を培い、自立し、他者と協働しながら創造的に生きていくために必要な能力が身につくよう指導と援助を行い保育している。

#### <教員の資質向上>

幼児に寄り添う人的環境として、良質な教諭が安定して長期に関われる体制を作ることが重要である。そのために自己の教育のあり方について自己評価を行い、その結果について公表している。又、5領域に分けて研究し、毎学期発表している。

- 1、健康…様々な運動遊びの中で、子ども達のバランス感覚がどのように変化していくのかを追う。
- 2、人間関係…人と関わることでどのような変化(成長)が見られるか追う。
- 3、環境…数量、文字、図形などの遊びを通して子ども達がどのように変化していくのか。
- 4、言葉…子ども達が経験したことや考えたことなどを、言葉でどう表現できるようになるのか。
- 5、表現…素材に出会った子ども達が気付いたり感じたことをどのように表現し、遊びに取り入れていくかを追う。

#### <地域との連携>

幼稚園や家庭を包む地域は、子どもが異なる世代の人々と交流し、様々な体験や遊びを通して協調性や生活の知恵を学ぶことにより、社会性や豊かな人間性を育む場として大きな影響力を持っている。幼稚園、家庭、地域が連携協力しながら地域社会全体で子どもの育ちを支えていく必要がある。

- ・高齢者との交流・・・様々な機会を通じ、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる。  
福祉施設等における訪問(年2回)、来園など積極的な参加(年7回)。
- ・小学校との交流・・・地域の小学校の配慮や協力を得て、先生同士で情報交換したり、幼児と児童が交流している。

一緒に公園でどんぐりや落ち葉拾いに行ったり、入学前には学校の中や授業を見せてもらったり、ランドセルをかけさせてもらい、1年生になる喜びと期待を膨らませた。

小学校の開放に先生達がそれぞれ都合のつく時間に見学に行った。

- ・地域との交流・・・園解放、事前音楽会には地域の方にもお知らせしている。  
地域の避難訓練や様々な活動に幼稚園として積極的に参画し、社会教育との連携を深める。  
地域の独居高齢者「ふれあい会」でも園児が歌や手遊びを一緒にして過ごしている。

#### <子育て支援事業>

預かり保育は保育終了から17時30分まで園児を預かる。保護者が出来る限り利用しやすいような体制にしている。仕事をしている母が多いのか、利用者は年々増えている。担任との連絡を取りながら、子ども達が落ち着いて安全に過ごせるよう配慮している。異年齢による子ども同士の関わりを深める為の指導や援助をし、子ども自らが育つ環境を整える。

- ・保育終了からの預かり保育利用者数は、  
1日平均利用者数42名（最高78名）、担当教諭2～5名、
- ・早朝預かり7時30分～始業前まで。1日平均利用者数35名。
- ・長期休暇中（夏、冬、春休み）の1日平均利用者数41名。
- ・2歳児預かり 80名。
- ・未入園児教室 年4回実施。（321名）

#### <安全管理>

- ・地震、火事等の避難訓練(予告あり、予告なし)を計画的に実施するとともに、日頃からバスからの避難訓練、早朝預かり保育や保育後の預かり保育での避難訓練、引き渡し訓練を実施し、災害時には教職員の指示を聞き適切な行動が素早くとれるよう避難訓練を実施している。
- ・AEDもいざという時に誰でも使用できるように使い方の勉強や、毎月機械の点検をしている。
- ・教員も非常ブザーを腰に携帯していて、月1回電池切れしていないか点検している。
- ・犯罪から子どもたちや職員等の命を守るため、ボタンを押すだけで警察へ通報出来る「110番直結非常通報装置」を設置している。ネットランチャーを利用した不審者訓練で不審者侵入等、様々な場合を想定した防犯訓練も計画して実施。
- ・園の施設・設備・遊具等の安全点検を毎学期確認し、改善している。
- ・砂場も月1回消毒している。
- ・アレルギー疾患の理解とアレルギー疾患のある子どもを把握し、特に食物アレルギーのある子どもには保護者に詳しい情報の提出を求め、教職員で把握できるようにしている。

#### <その他>

- ・特別支援教育・・・支援を要する子どもにその特性を踏まえた十分な幼児教育を受けられるよう配慮して、担任だけでなく、全職員が支援する体制を整えて取り組んでいる。  
すべての教員に、特別支援教育に関する一定の知識・技能及び合理的配慮の提供に関する正しい理解の為、研修に積極的に参加し、専門性の向上に

努める。

- ・読書・・・・・・・・・・絵本や物語などに親しみ興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。  
そうしたことから図書の購入、整備を図り、毎月1冊、長期休暇中は2冊、  
多くの本の中から自分で読みたい本を選び、借りていく。  
バーコードで管理し、どんな本に興味があるか等調査して、これからの保  
育に生かしていきたい。  
家庭における読み聞かせの楽しさや読書の重要性についての理解の促進  
を図る。
- ・先生のチェンジ・・・・・・・・・・いろいろな先生と関わり、誰の話も聞けるようにし、先生もいろいろな子  
どもの事を知って関わっていけるよう実施している。子どもの反応では  
どの先生が来るのか、初めて関わる先生との時間は新鮮で、みんな楽しみ  
にしていた。  
先生たちの感想・・・・・・・・・・いつもと違う先生や雰囲気です話を聞く力がついていた。  
・チェンジの時、今日は誰かなと楽しみにしている。その先生と担任の先生  
とのちがいや子どもの好みなんかも分かって面白い。  
・年長はいつもと違う先生との出来事をうまく説明できた。  
・帰り支度をするときもいつもより素早く動いて意欲的な子が多くいた。子  
どもの良い刺激になった。  
・補助の先生との連携の大切さを実施。
- ・保育見学・・・・・・・・・・子どもたちが遊びやすく、わくわくするような進め方をしていたのが、良  
かった。  
自分のクラスの子どもを他の先生に見てもらうことで、違った見方が出来  
る。先生も子どもも成長につながっていく。お互いに勉強して、子ども達  
が楽しく保育を受けられるように努めている。
- ・食育・・・・・・・・・・当園は外部委託の給食だが、給食のお弁当を温蔵庫に入れ、温かく美味し  
く食べられるようにしている。食べる喜びや楽しさを味わったり、様々な  
食べ物への興味や関心を持ったり、進んで食べようとする気持ちが育つよ  
うに、いつもと違う雰囲気の中で遊戯室でのバイキング(年7回)にしたり  
学校給食の様に年長がエプロンをつけ下の学年の子ども達に盛りつけた  
りよそってあげたりと和やかな中で食べられるように工夫している。
- ・まつっこタイム・・・・・・・・・・「先生と親子で楽しく遊ぶ」土曜日に年6回催している。  
アンケートによると、保護者も次回は何をしてくれるのか毎回楽しみに  
しているとの意見があった。  
今までした中で特に良かった事…ケーキ作りやデコ寿司作り、  
お化け屋敷、プロの人形劇、地曳網、まつっこフェス、ミニ運動会等  
でした。  
してほしいこと…一緒に遊べるゲーム、鬼ごっこ、かくれんぼ等。また、  
日曜日にしてほしいとの希望もあり。  
これからも楽しい事やあまり家庭では経験できない事を考えていき、親  
子のふれあいになればと思う。
- ・歌おう会・・・・・・・・・・お母さんたちが歌う歌をいろいろな行事毎に工夫して聞かせてくれて  
子どもたちを楽しませてくれている。

(夏祭り、七夕集会、クリスマス会、お別れ会等)

- ・保護者アンケートの結果・・・いろいろな意見があったので、出来ることから改善していく。

**【改善点があれば教えて】**

- ・トイレの問題（大人用のトイレの数）。
- ・預かり保育の値段。
- ・人数の割りに駐車場が少ない。
- ・運動会、発表会の場所が狭い。
- ・預かり保育を時間延長してほしい。そして、給食にしてほしい。
- ・給食に汁物がほしい。幼稚園で作ってほしい。
- ・子どもの好きそうなメニューがない。
- ・給食の量を、年齢によって加減してほしい。

**【良いところ】**

- ・職員みんなが笑顔で挨拶してくれ、担任以外でも名前を覚えてくれて声を掛けてくれる。明るく親切で丁寧に対応してくれる。
- ・子どもが楽しめる行事や環境づくりをしてくれる。
- ・行事やイベントが多く、良い経験が出来ている。
- ・どの先生も一人ひとりの園児に真剣に向き合っていることが素晴らしい。
- ・保護者が園の行事等に積極的なところ。
- ・どの保護者も会えば挨拶してくれる。
- ・異年齢の交流。
- ・保護者の意見を大切にしてくれている。
- ・伸び伸びしていて、それでいてしっかり教育されているところ。
- ・園庭広く、花もきれいで遊具がたくさんあるところ。